

総務文教委員会

9月17日委員会が開催され、付託された議案1件と陳情1件について審査しました。

◎平成21年度福生市一般会計補正予算(第2号)

(総務文教委員会所管分)

今回の補正予算は、今まさに全国の地方自治体にとって、交付されるのかどうか問題となっております。国の第一次補正予算、地域活性化・経済危機対策臨時交付金と緊急雇用創出事業に対して、質疑が集中しました。その主な内容をご報告します。

問 政権が変わり交付の時期はいつ頃になるのか。

答 都補助金の緊急雇用創出事業臨時特例補助金は5事業を提案しているが、その内容は、

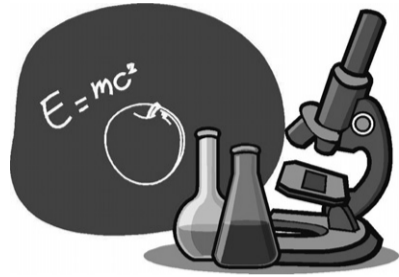
答 秋ごろという抽象的な表現で、まだ交付決定はない。雇用の関係は、当初、東京都には77億3千万円程で、それを各区市町村に配分された。

そこに今回、3千億円程度の積み増しが行われ、約3倍の相当額となった。それを3年間に配分をし、5事業はその21年度分として計上している。

問 実施事業として選定した理由は、

答 この交付目的が制度要綱として、地球温暖化

対策、少子高齢化社会への対応、安全安心の実現、その他将来に向けた地域の実状に応じたきめ細やかな事業ということなので、緊急性、市民還元性、経済効果などにより検討した。



問 凍結になったらどうするのか、その可能性はないのか。

答 予算として決定されたものは何としても交付していただくよう全国の自治体共通の問題であることから、地方6団体等を通じて新しい政権に対して強く要請を求めている。かなければならないと考えている。

その他、音楽のまちづくり備品や中央体育館の防犯カメラ設置工事、小中学校の理科設備備品、公用車の買い換え等について質疑したのち、原案のとおり可決した。

なお、陳情1件は起立により不採択となった。

CO₂削減特別委員会

8月20日にCO₂削減特別委員研修会を委員及び委員外議員・理事者の参加のもと開催しました。

日本大学の浦上健司先生は2030年二酸化炭素削減50%をどう達成するかについて講演され、CO₂削減目標に至る背景から福生市の二酸化炭素50%削減のシナリオや新エネルギービジョンなど具体的な取組みを説明され、達成の可能性・今後の課題を明示されました。

次に日本大学の糸長浩司先生は2050年低炭素都市福生市モデルの構築について講演され、永田・熊牛・富士見台などモデル町会ワークショップから2050年水と緑を生かした暮らし方・緑の道・まちづくりなどを総合的に検討することを



▲CO₂削減特別委員会研修会

特別委員会活動から

述べられました。

また講演後、活発な意見交換が行われました。

◎9月18日にCO₂削減特別委員会が開催され、冒頭福生エコライトハウス事業を視察しました。

することとして福生市のCO₂排出量の現状について説明。

①福生市における温室効果ガスの排出量の変更に福生市における温室効果ガス排出量の推移について

②福生市役所等市施設の二酸化炭素排出量について

③環境マネジメントシステムについて

④地球温暖化対策設備助成制度について

その後質疑にて、温室効果ガス排出量で家庭及び業務の民生部門が57.5%と一番多く、これを削減するためには、省エネ・新エネ設備を設置するか、一人一人の生活を環境家計簿で点検し改善していく事が重要とありました。

◎特別委員会として議員にマイ箸・マイカップを定着させ、割り箸・紙コップは片付ける。また、環境家計簿を自らつけるなど身の回りの努力から始める。また委員会の代表が福生市環境マネジメントシステムL.A.S.Eに参加し、エレベーターは使用しない、コピー用紙を減らす事など議会として取組めることを研究・調査する事になりました。

◎視察後、地球温暖化対策に伴うCO₂削減に関

横田基地対策特別委員会

9月18日に委員会が開催され、3件の事項を協議しました。

①横田基地友好祭については、8月22日～23日の土日2日間で行われ、横田基地広報部によると昨年の倍17万5千人が来場、今年は初飛来の最新鋭ステルス戦闘機F-22その他航空自衛隊機等が展示、また牛浜駅の乗降客が約10万人、昨年の約4万4千人増となった。また、市への苦情は29件だった。

②横田基地に関する事件、事故等については、横田基地内で新型インフルエンザが発生したとの報告があった。米軍人男性が検体による検査の結果、7月6日に新型インフルエンザであることが確認された。

7月6日に東京都を通じて外務省から情報提供があり、各関係者に連絡、その後の経過は患者も回復し家族も発病しなかった。

次に、米軍人の公務執行妨害については、7月15日未明、横田基地所属一等空兵が市内で酒に酔い、所有者不明の車の窓ガラスを破壊し、さらに警察官を殴り逮捕、市の

対応は都5市1町で、軍人等に対する教育、綱紀粛正、再発防止等を図りたい旨の要望をした。

基地の対応は、大変遺憾であり、軍としても厳重な処分を臨みたい。今後は再発防止に向け厳しく臨むとのこと。また、横田基地内での砲弾の発見については、8月14日作業員が除草作業中に、基地東地区内で不発弾を発見、同日中に不発弾処理用地で爆破処理された。



▲北関東防衛局への要請行動 (H21.7.23)

③航空自衛隊司令部の移駐に伴う建設工事等について、総隊司令部庁舎棟などの建設に向けた掘削工事、基礎工事が終了し、6月下旬から地下部分の躯体、軍施設託児所、下士官教育施設の工事が始まり、航空総隊司令部の通信局舎は、まだ仮設工事の段階との報告があった。

④女性ファッションとしての帽子の着用も、可とする。

●高齢社会などの時代の変化に対応できる、身近な議会運営を今後も目指してまいります。

編集後記

新型インフルエンザによる学級閉鎖などの対応について、日々確認しながらの第3回定例会でした。

◎議会だよりの1ページの写真にあるように最終日に、福生第七小学校の児童の議会傍聴がありました。

初めての試みでしたが、福生の未来を担う子どもたちに、議会を見てもらうということは大きな意義があると考えます。

◎議会では定例会ごとに議会改革の協議会で、開かれた議会を目指して取り組んでいます。この度傍聴規則の見直しを検討して、次回の定例会から次のように運用しようということになりました。

●傍聴席の入り口などに変更点(議長が認めた)を大きく表示することになりました。内容は、

①新型インフルエンザや花粉症対策としてのマスクの着用を認めること。

②高齢者の方や視覚障害者の方の白杖など、杖の持ち込みも、可とする。

③女性のファッションとしての帽子の着用も、可とする。

●高齢社会などの時代の変化に対応できる、身近な議会運営を今後も目指してまいります。

◎視察後、地球温暖化対策に伴うCO₂削減に関

することとして福生市のCO₂排出量の現状について説明。

①福生市における温室効果ガスの排出量の変更に福生市における温室効果ガス排出量の推移について

②福生市役所等市施設の二酸化炭素排出量について